

## 第2回 日野町幼児教育保育の在り方検討懇話会

令和4年(2022年)10月24日(月)15時～

日野町役場 防災センター研修室

~~~~~

### ○子ども支援課長

ただいまから第2回日野町幼児教育保育の在り方検討懇話会を始めさせていただきます。秋らしい日が続きまして、朝夕めっきりと冷え込みが激しくなってきましたけれども、皆様、平日の出にくい時間にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。本日、お2人の委員から欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告をさせていただきます。

それでは、設置要綱第6条の規定によりまして、委員長が会議を進めていただきたいと思いますので、委員長、どうぞよろしくお願いいたします。

~~~~~

### ○委員長

本日もよろしくお願いいたします。

本日の議題は、保育所・子ども園・幼稚園保護者向けワークショップの結果報告と今後の公民館での一般層向けワークショップについて、皆さんと意見交換させていただきと思います。

私は今日、皆さんに相談する目的で報告書を作成してきましたので、どんだご意見を願います。私は子どもがいませんし、日野町に住んでいないので、皆さんの話を一生懸命聞いている最中で、気づいていないところがたくさんあると思います。私の言っていることが正しいとか結論だとか、そういうことは全くないので、是非、遠慮なくご意見をいただきたいと思います。

最初に皆さんに相談ですが、本日、委員の方が2人ご欠席であります。欠席した委員にどのように情報共有するのかというと、通常は紙媒体で、こんな話し合いがありましたとやりますが、どういう雰囲気で私たちが話したのかということが伝わらないと思いました。そこで、欠席の人だけ限定で、雰囲気をカメラで撮り、その方が見たら消すという形で共有するのはありか、なしか。基本的にこの会議は非公開なので、イレギュラーな対応ですが、通常の会議ではこういうことは言わないのですが、会議に慣れている人ばかりではないと思うので、そこは配慮した方がいいのかなと思います。皆さん、いかがですか。

(異議なし)

ここから私のカメラで撮影させていただき、欠席の委員さんが見たら消去させていた

だきたいと思います。ありがとうございます。

~~~~~

## ○委員長

それでは、次第3に入らせていただきます。

ワークショップに参加された委員は内容を知っておられるところもあると思いますが、ここでは懇話会の委員全員と情報共有したいと思っておりますので、重複するところはお容赦ください。

最初は復習になりますが、ある小学校の例を前回この懇話会で文字列で説明したと思います。ところがワークショップを重ね、文字列だとわかりにくいと思い、図化しました。

その図で今日のワークショップの報告書を作成していますので、復習の意味も込めて見ていきたいと思います。

前も申し上げましたが、新築して開校したにもかかわらず、わずか2年で休校になり、30年近く経って廃校したという事例です。なぜこういうことが起こったのかを図化してみると、その地域はダムで水没するまでは、小売店があり、小さな集落になっていました。ところが、移転補償で簡易郵便局や小学校・中学校は移転しましたが、肝心の周辺施設、小売店等は住民がほとんど出て行ったので残りませんでした。そうすると、仕事や就業先も当然離れたところになり、子どもの人数は余計に減り、最後は小学校だけが残ってしまったというのが、図で見るとこのようになります。

では、これをワークショップ結果に当てはめたらどのようなことになるかというところですが、テーブルの上に日野町全域のマップを敷きまして、その周りに保護者の方に座っていただき、テーブルにはファシリテーターが入り話を伺ってきました。

内容ですが、「今日はどこへ行こう会議」と名付けましたので、「子どもを連れていく時にどういう場所を選びますか？」というのを8つのシチュエーションで聞いています。

「雨の日はどこへ行く?」、「子どもが好きな場所はどこ?」、「一人で連れていく時はどこ?」など、それぞれのテーブルの皆さんにまず「場所」を聞きました。

ただ、場所を聞くことが本質ではなくて、「なぜそこに連れていきたいと思うのか?」というあたりを聞こうとしています。実際ワークショップでは1枚1枚の付箋に「日野川ダム」、「公園」、「図書館」等の場所が上がってきます。

数字で書いてあるところは8つのシチュエーションになります。10か所の園で開催して、たくさんの回答を頂きましたが、本日は概要をご説明させていただきます。

今回のワークショップで私が印象的だったのが、「実家」と書かれた方がすごく多いことです。私は東京の世田谷の生まれですが、感覚として、実家というのは年に2回くらい盆と正月に帰る場所なのですが、皆さんは頻繁に帰っておられるのだなという印象がありました。

日野町にあるいろんな施設、「松尾公園」や「ブルーメの丘」、ちょっと離れた水口の施設、それから「遊具があるかないか」ということが結構ポイントになっていて、連れてい

くお子さんの年齢に合った遊具があるかないかが重要であり、近所の公園でも遊具がある公園などは活用されていました。「ひばり公園」など、町外の大きい公園になると遊具や広さなど、ある程度幅広い年齢層の子を連れて行けるという話があるのと、「畜産センター」は最近、条件が変わったという話も出てきましたが、動物と触れ合える場所として「ブルーメの丘」もそうですし、竜王の道の駅に行かれる方、それから永源寺方面へ行かれる方もおられ、「生き物とのふれあい」というのは多数ありました。

あと、公共施設でいうと「図書館」や「日野駅」、日野駅はびっくりしましたが、お子さんが鉄道好きだった場合、日野駅まで行って八日市まで乗るとか、貴生川駅まで行ってひたすら電車を眺めるとか、米原まで行って新幹線を見る等、そういった話が出てきて、駅がそういうふうな形で活用されているということもありました。

その他、図書館は無限に借りられるというのが非常に大きい要素で、さまざまな形で利用されているというのがありました。

日野といえば自然豊かということになりますが、シャクナゲ谷の辺りが使われていたり、神社が使われたりという事例もありました。

「土山の川」や「永源寺の川」は、バーベキューなどをやるのであれば日野町内ではなくて足を伸ばしたところに行くという回答が出てきています。

買い物関係です。私は「アオキ」と出てきた時に紳士服と勘違いしましたが、この辺だとドラッグストアを指すのですね。「フレンドタウン（平和堂）」もよく出てきました。

小さな子どもを連れていくということでは、「百円ショップ」というのは何か買う時の限界値が決めやすいということもあり、百円ショップは使われています。

もう少し足を伸ばすということになると、日野町のエリアによって分かれていましたが、「近江八幡イオン」や「水口平和堂」もたくさんありました。あと「湖南イオン」というエリアもありましたし、「八日市アピア」もありました。

このように日野町内、もしくは日野町のすぐ近くのところで賄えるものと、雨が降った場合、立体駐車場がある施設の方が濡れないとか、子どもを乗せるカートが整備されているといったことで選択されているというのがあり、幼稚園・保育園を中心として、こういったものに囲まれて皆さんは子育てをされているのが見えてきているなと思います。

今回やらせていただいて思ったのは、園の外側でいろんなところがいろんな目的で使われているのだなど。もちろん親御さんの考え方によっても違いますし、親御さんがお忙しい場合は、ほとんど家だけで過ごす、たまに平和堂に連れて行くくらいかな、と話された方もおられたので、本当に親御さん次第ではありますが、町内のいろんなものを活用されていて、先ほどの小学校の事例でいうと、園の外側に二重にも三重にもそういった子育てを支えているというものがあるのだなどということは大事なのではないかと私としては思っています。

ここから先は視点を変えて、今、「場所」の話をしましたが、各地点がどういった理由で選ばれているのか。「どこに行こう会議」は、表面的には子どもをどこへ連れて行って

いますかというのを聞いていますが、その「理由」が一番大事なところで、そこをまとめたものになります。

いくつかのカテゴリーに分けていますが、「親の要望」をポジティブとネガティブに分けています。ポジティブが多かったのも、さらに細分化してあります。まず、「空間」です。「広い屋外」、「日陰のあるところ」、「自然が豊かである」という回答があがってきていて、これで「公園」などの場所が選択されています。

それから「子どもの人間関係」です。「同年代がいる」、「他の子どもたちの交流が生まれる」、「異年齢交流が生まれる」などです。

次に「親の人間関係」ですが、とりあえず松尾公園に行ったら知り合いがいるからと話していただいた親御さんがそれなりにおられました。「松尾公園」と「ブルーメの丘」は全ての園のワークショップで絶対に上がっていた気がしますが、それは、公園を使うということだけではなくて、誰かがいるからと話されている方が多数おられ、公園というと遊ばせる場所としてとらえますが、連れていく親の人間関係も影響しているという印象がありました。

次は「親子」ですが、「兄弟の中で一人だけ連れていき、その子と二人きりの時間を持つようにしている」、「親子で心地よくいられる場所」、「子どもが楽しめることに加えて、親も楽しめるか」など、子どもだけでなく親も楽しめるという視点で場所を選ばれている場合もあります。ですから、「親子」というカテゴリーに分けてみました。

それから「環境」、1つ目と2つ目が対照的で、興味深いなと思いましたが、「無料である」ところというのは理想ですが、「有料である」ところでも「屋内で目が届く範囲で遊べる、囲まれているから安心」ということで、何か付加価値があるとお金を払う価値が出てくるのかな。あと、「目」です。これも今回、一人で連れていく場合と、夫婦で連れていく場合と、お友だちと連れていく場合と聞いていますが、大人の目が増えるとやれることも変わってくる。逆に一人だったら絶対連れて行かないという話も出てきていたので、そのようなところでも選択がされているんだなと感じました。目を離していても大丈夫だということですね。

あと、「車移動は苦にならない、子どもを連れていきやすいか」ということで、その中で「遊具の種類や数」については、本当に何度も言われました。遊具がないので子どもがもたなくなったとか、子どもが大きくなったので従来の遊具だともたなくなったという意見が多数ありました。あと、「ベビーカーとか三輪車などの移動しやすさ」、そういったことも意見も多く寄せられました。

それから「体験」、外から日野町を見ると自然豊かというところもあるので、どういう環境を求めておられるのかなというところで見えていくと、「動物や植物、畑など自然とのふれあい」、「子どもが制限なく自由に遊ぶことができる」といったところがあります。ただ、「水遊びができる場所」というのが比較的皆さん苦戦されているようで、町外へ連れて行かれるという意見が多かったです。

「畑」は、町内で祖父母や親類の畑があるというのは、日野町らしいなと思いました。そういうところがポジティブな話です。

次にネガティブな側面、「百円ショップ」がなぜこうも人気なのかというと、私はこういう視点がなかったので勉強になりましたが、安いので子どもにねだられても買いやすい、歯止めが利くというところで百円ショップは選ばれているという話もありました。

ショッピングセンターのカーツの種類の話はたくさんの方が言われ、だから「イオン」に行くという話も聞きました。あと、駐車場から濡れずに入れるかなど、なぜショッピングモールが人気なのかというところでは、このような要素があるということが私も勉強になりました。

フラットな話では、兄弟の話がたくさん出てきましたし、子どもの成長によって行ける場所が変わるという話も出てきました。ほかの家族連れが多いかどうか、騒いでも気にならない、近場でいうと「神社」などは騒いでも人がいないから問題にならないとか、コロナ禍だったということもあり、人があまりいないといった視点で決めておられる方もいました。また「自宅」を活用されている方もたくさんおられました。簡単なプールぐらいだと空気を膨らませて設置するといった、私の出身地だったらそんなことができる家はものすごく豪華な家ですが、そこは環境が違うなと思いました。

あと、立体駐車場は、雨の日に連れていく時にポイントになるみたいです。

次は「子どもの希望」です。ここは代表的なものですが、先ほど言いましたように、鉄道を見るという目的で近江鉄道の活用がありました。また、安全に虫が取れる場所や記念日などには京都の鉄道博物館、京都水族館という意見が出ていました。

そして「実家」の話です。日野の子育て環境を考える時に、実家の近くに住んで子育てができるというのが大事な要素なのかなと思いました。

その他、ブルーメの丘は子どもが大きくなるとお金がかかる。入るのは無料だが大きくなると奥の有料の場で遊びたがるから連れて行かないというご意見もありました。

水遊び関係ですと、目が離せないのも、人の目がある程度揃っていないとできないという話が出ていました。コロナ禍独特の話もありました。

「ファシリテーターの所感」ですが、自然遊び関係は少なかったです。それが意外でした。公園系はブルーメの丘が必ず出てきますが、お金がかかるから松尾公園とか、遊具が残っている小さな公園などが出てきていました。

これは要望になっていますが、屋内で遊べる場所、八日市に室内で子どもたちが遊具で遊べる場所があるという話も出ていました。

あとは幼稚園関係ですが、14時のお迎えが非常に微妙という話が出ていました。

彦根出身の方からは荒神山公園の話が出まして、出身地の公共施設は当然知っておられるので、そういったところを利用されるという意見もありました。

日野は小さい子から大きい子まで年代の違う子どもが遊べる場所がないというご意見もありました。

ここからは、意見交換を受けて私がどんなことを思ったのかという話をさせていただきます。幼稚園・保育所があって、周りにショッピングモールとか公共施設があった時に、幼稚園・保育所の形というのがそもそもこれからどういうふうに周りと役割分担していくのかというところも大事だと思います。

例えば、今回、年代の違う子どもたちを遊ばせられないという話の中で、昔は小学校に入れましたが、今はコロナとかセキュリティの問題で入れないと思います。そういったことも実は子育て環境に影響してくると思います。幼稚園・保育園と周りとの役割分担というのが議題になってくるだろうし、集落と町でどこまでカバーするのか。例えば、室内でいろんな遊びができる公共施設をつくったらいいと思いますが、これからの時代、何でもかんでもハードをつくる時代ではないですね。うまく町外にあるものはお借りして、町内で最低限これがないと子育てしにくいというところを考えていかなければいけない。

周りとの役割分担と、集落・町でカバーできることを考えていかなければならないような気がしました。

印象として思ったのは、「日野町幼児教育保育の在り方検討懇話会」という名前なので、「幼稚園・保育所は将来こうしましょう」みたいなことを言う場だと思いますが、最後までとめる時に、環境も含めて我々みんなで考えた意見を出した方がいいのではないかなという気がしました。でも、私が思っただけなので、ここまでの話を聞いて、皆さんのご意見を聞かせていただけたらと思います。

このあとにまだアンケートの説明がありますが、ここまで結構な情報量が出てしまいましたので、一旦区切らせていただき、ご質問等あればお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。

今日の段階でもし、今回の内容が確認できると、より面的な話がしていけるのかなと思います。全部を行政が受け止めてもらえるかどうかわかりませんが、我々としては幼稚園・保育所の方向を考える時に、日野町内にこういう役割が要るとか、各集落にこういうものが要るなど、そういったところが見えた方が、最終的には幼稚園・保育所のあり方の方向になるのかなと思います。

質問だけに限らず、私からの提案について皆さんから感想等もいただけると嬉しいです。

#### ○委員

荒神山公園のような小さな子どもと大きな子どもと一緒に遊べる場が日野にはないということで、サロンのことを言っておられるのかなと思ったのですが、サロンは午前中オープン参加になります。日野町は就労率が高いので、幼稚園・保育所を利用されている方が多いです。未就学児は在宅の方でしたら2歳までになりますが、異年齢児と一緒に遊ぶという子どもさんがサロンの場合いないのかなと思います。

#### ○委員長

ありがとうございます。

## ○委員

私も上が小学校2年生で一番下が2歳ですが、確かに困っているのは夏休みで、一番下は就園前なので家に常時いる。夏休みは上の子がいるのでどこへ行こうとなります。

遊ばせられる川ですが、あまり深いと一人では絶対連れていけないし、日野町で小川がチョロチョロくらいで、水遊びして子どもが気持ちいいと感じられるようなところはなかなかありません。それは常日頃からしゃべっていて、町外の公園だと小川チョロチョロがあつて、そこに行ってしまう。日野町は土地が大きい、場所も取れるので、そういうのがあれば今後、行くのかなあと思います。横に芝生の広いところがあるといいし、また小川チョロチョロに戻ったり、お昼ご飯もテントがあつたりするといいし、寝かしつけられたりできたらいいなと思いました。

## ○委員長

ありがとうございます。参考になりました。

## ○委員

川はやっぱ子どもも好きだし、大人も広いところで開放されて、いいなと思いますが、なかなかないですね。

## ○委員

私は、この懇話会に応募した時に、全く同じような気持ちを持って参加しているので、子育て環境等を考えていきたいです。

## ○委員長

ありがとうございます。非常に嬉しいです。

## ○委員

それじゃないと意味がないと思っています。

それと先ほどの話ですが、そもそも2歳児に対応した公園などは日野町には皆無です。私はどこまで日野町に求めるのかということ考えた方がいいのかなと思っています、そもそも日野町にそこまで期待していない。ないから、日野町から出ます。私は日野町に実家もないですし、完全に移住者なので、夫が古民家好きで、古民家のためにただ移住してきただけで、全く日野町には期待をしていないところがあります。

でも、他の地域とか自分の地元を見ているので、ここで生まれ育っていないというのが大きいのかなと思います。実家も兵庫県とか大津市でどこまで期待すればいいのかなと。

もちろん日野町の中ですべてあつたらいいのですが、それがそもそも必要なのかというのは、一度立ち止まって考えた方がいいのかなと思います。日野町は日野町で、今のままだもいいところがあるので、どこまで求めるのかなと思います。

## ○委員長

ぜひ私も議論したいところでして、財源があればいいという意見もありますが、「何でもある」わけではなく、人口規模も違います。日野町の特徴を生かした方が、「これだけは日野町の特徴として、ないとまずい」というものが見えてくると、ここの個性になると

思うので、全方位でどんな子育て層も来ますよというよりは、この子育て層に刺さる日野町みたいなものがあった方が個性が出るし、何でもやらなくて済むかなという気がご意見をお聞きして思いました。ありがとうございます。

#### ○委員

こうしてたくさんのご意見を集約していただいて、ありがとうございます。

その中で水遊びの件や自然相手に遊ぶ場が少ないというのは意外だなというのと、自分の子どもたちを考えたら「確かに」と思うところがあります。日野町には日野川や1級河川があり、各自治会や地域によって河川愛護で草刈りをされているところはあります。決して遊べる環境の川ではなくて、蔵王ダムができたことにより、農業用配水になりました。日野川の上流に蔵王ダムができることにより、草木が覆い茂って、川らしい川はなくなってきて、自分たちが子どもの頃はその川で魚つかみをして川を歩きながら家まで帰って来たという思い出がある川ですが、今はもう立ち入ることすらできない川になっています。私は蔵王に住んでいて、蔵王ダムがありますが、集落で一番の議題は集落の真ん中に日野川が通っていて、日野川をどうにかしないといけない。自然を元のように直していくことで、川遊びができるようになり、でもそれには費用面等で大変になってくる。

野山・里山を見ていても、放置されているところが多くて、昔は遊びに行けたのに、今はそこに踏み入るのは怖いとか、獣害柵がしてあって、より入り込みにくいとか、今の生活を守るためにやってきていることが、逆に子どもが自然豊かに遊べる場所の制限がされている。どちらがいいのかなということを改めて考えるようになりました。

幼稚園・保育所の中身ばかりではなくて、周りの環境を整えることも大事なことで、また環境だけでなく、団塊世代の子どもたちが親になり、団塊ジュニアと言われている人たちの中でモンスターの人が増えてきている。そのようなところも今の社会的な課題でもあるかなと思います。環境を整えるという中では、親の教育というところも大切になってくるかなと考えます。

幼稚園・保育所の中身だけではなく、全ての環境面を整えていくというところは、子どもたちのより良い未来のために、過ごしやすい社会のために重要だと思いました。

#### ○委員長

ありがとうございます。

#### ○委員

日野幼稚園はもともとの日野の方というのは少なく、少数ですがお母さんが車に乗られない方もおられます。日野小学校区は歩いて色々なところに行けます。商店や松尾公園もあり、良い環境にあります。日野町の周辺地域では、そういうところが近くになく、結局、お休みでないとお出かけができない、平日は家で過ごすことが多いと話されますので、近くに色々なものがあるというのは心強いのではないかなと感じています。

それと、雨の日に行くところがないというのは聞いております。幼稚園にいても、どこかへ出かけようとするとき、晴れたら公園とかありますが、雨の日には子どもたちと安全に



過ごせるところはありません。子どもたちもずっと家に中にとるとストレスが溜まってくるので、どこかで発散させてあげたいと思っておられますが、日野町内にそういう場所がないというのは、子どもたちも保護者の方もストレスが溜まるのかなと感じました。

#### ○委員長

ありがとうございます。そういう意味で交通の問題でもありますね。私の両親は免許を持っていなかったなので、必ず公共交通で移動していました。ありがとうございます。

#### ○委員

ワークショップに参加させていただきましたが、コロナ禍で親御さんが集まって意見交換するという場はほとんどなかったのですが、ワークショップは聞くだけで、話すことは自分にできるだろうかという思いがありましたが、実際参加してみると、同じ年代の子どもを持つお母さん方が集まって、コミュニケーションの場でもあったかなと思います。

実際その場でないとわからないこと、どこに出かけるとか、普段お話しする機会がほとんどないので、「こんなところがあるんだ」とか、行ったことがないようなところを聞き、身近な場所でも十分に活用されているのだなと思いました。たくさんお話しさせていただく中で、自分の中ですごくありがたいことだなと思いました。

雨の日に出かける場所が少ないというのはありますが、車のある方ですと選択肢がありますし、県内で行けるところの知識がないので、そういう意味では日野町内でも施設があればいいのかなと思いました。

#### ○委員長

ありがとうございます。

#### ○委員

私も必佐幼稚園でワークショップに参加させてもらって、よかったです。

顔見知りの保護者さんたちでしたが、話す機会もなかったなので、たくさんの情報が得られてよかったなと思いました。

感想ですが、今、幼稚園の息子が2人いて、日野町以外に車で連れていくのに不便さは感じませんが、年長の息子が友だちと遊びたがるようになってきて、最近は約束をして松尾公園へ連れて行って遊ばせていますが、これからのことを思うと、自分たちで約束して自分たちで集まれる場所、松尾のような公園が必佐地区にもほしいなと思います。

半数以上の子どもが学童に行かれていて、夏休みも学童に行けない子たちはどうして遊ぶのだろうという不安もありますし、子どもたちが自分の足で行ける場所がそれぞれの地区に欲しいなと思います。

子どもたちの遊び方は年齢とともに変わっていくのは当然で、必要となる遊具も変わっていくと思いますが、友だちがいたらどこでも遊べると思います。八日市でされているフリーパーク、冒険遊びの場など、何もなくても、そこに大人の遊びのリーダーがいて、友だちが集まれば、それはもう楽しい時間なのです。そういう場所が日野町でもできたらいいなと思います。

荒神山の話題が出ていましたが、荒神山は体育館を無料開放されていて、遊びたい時に高校生でもバスケットボール1つ持って集まれるような場所で、そういうものが日野町にもほしい。大谷はハードルが高いように感じるので、児童館、八日市のハートピア、彦根の荒神山など、小学生・中学生が集まれる場所がほしいと思います。

サロンの話題も出ていましたが、日野町がされている「ちびっこ祭り」は3歳児までが対象です。年中・年長、小学校低学年ぐらいの子が楽しめる小さなイベントとかお祭りなどがあればいいのかなと思います。日野町の花火大会も規模が大きくて、子どもは30分待つのは限界なので、子どもが楽しめる場やイベントが日野町でもこれからどんどんできたらいいなと思います。

## ○委員

第2わらべのワークショップに参加させていただきました。時間が足りないくらい皆さん意見を出していただいて、顔ぶれを見ていると、そういったことに関心があるというか、時間帯も17時半からだったので仕事を切り上げてとか、迎えの時間だと早かったので、もう少し時間が調整できたら、ワークショップ自体が非常に大事な場になるので、幼稚園、保育園で少しの時間でも取っていただき、状況の共有をすることは、大きな機会になるのかなと思います。

あとは日野町の特徴として、実家がポイントとして出てきたというのは、お祭りとか地理的な問題で実家の近くに住宅が建てられないので、土地も安いし、近江八幡とか草津とかを探すというのはなかなか無理なので、日野町内の中道とかに来ている人は、日野町には住んでいるけど、実家は違う校区にあるという人が結構多いのかなと思います。西大路なども、地理的に子どもを通わせようと思うと、熊野とかですと非常に厳しくなるので、日野まで降りてきているという子が多いです。そういうふうなところが実家が近いというのが出てきたのかなと思います。

今、必佐地区の話をしていただきましたが、必佐地区の子ども会会長をさせていただきます。各地区の役員さんで会議をしていて、10～15年前と比べると、何十人も子どもがいた地区が今では5人くらいになり、いろいろ皆さん出していただいた場所、室内遊具とか大きな公園とかはどのお母さんからも出た意見ですが、なかなか予算的につくるのは難しいのかなと考えたりしています。ただ、イベントであれば必佐地区も今年3年ぶりに子ども大会というものを皆さんに協力いただいて開催しました。子どもが250人、大人を入れたら400人くらい参加して、必佐地区に住んでいる方なら誰でも参加していただけます。コロナ禍でイベントが一気になくなったというのは大きいと思いますが、無償で誰でも来られるイベントを開催してはどうかと思います。

あとは、子ども会が存在していないところや、新しくできた住宅地でまだ組織ができていないところは誰にどう連絡を取るかわからない。子どもたちがもらえる情報に格差があったらおかしくなってしまう。幼稚園・保育所、小学校も把握ができない。

学校も個人情報に関係で知り合いであっても言えないということがあり、対象が800

人程いたとしても、情報をしっかりあげられるのは500人くらいになってしまう。

親の都合、大人の都合によりコロナ禍で一気にイベント開催自粛でいいのではないかというのが、これからコロナと付き合いながら事業をする必要があり、何とか協力して子ども大会を3年ぶりに開催しました。

運動会も、幼児から小学生も自由に来ていい場所でしたが、それも運営が厳しくなってきたと。区長さんたちの意見で、日常生活の中で子どもが自転車で行動できる場所はたくさんあるが、大人がそれをなくしてしまっている。日野町のここ十数年くらいは間違いなくあると思います。

それを運営する僕ら世代は、親世代と比べると人口が少ないので、仕事をしながら公民館の実行委員とか保護者会で活動するという余裕が全くない。それが全部子どもたちに影響しているというのは、幼稚園・保育園にしわ寄せがきている。小学校と幼稚園・保育園はたくさん兄弟がおられるので、親が全部連動していて、そういったところのコミュニティが崩れてしまっているのもう1回そこを提言というか、幼児保育から日野町のまちづくりを考えることをやっていける会になると思います。

#### ○委員長

ありがとうございます。これから公民館ワークをやるのに、すごく参考になりました。私も自治会の活動はコロナ禍と台風で4年連続中止になりましたし、子どもの把握が個人情報に壁に阻まれて難しい。このあたりは大人の都合なのか、しっかり捉えて進めていけないといけませんね。

#### ○委員

同じ在所でアパートに住まれている方でも、子ども会に入っている方はお母さん同士がつながっていて把握できましたが、そうではない方は、子どもさんはおられますが、どういう人が住んでおられるのか、区としてはそこまで把握することが難しいです。そうすると子どもが放ったらかしになり、保護者が孤立するというパターン、日野町もアパートがかなり増えたので、アパートの取扱いは大きな課題ではないですか。

#### ○委員長

そういったことも書けるだけ書いた方が私はいいと思っています。課題としてあげさせていただきます。実家の隣に家が建てられないということは理解ができていなかったもので、ありがとうございます。都市計画の話になると思いますが、関連していることは書いた方がいいと思います。ありがとうございました。

#### ○委員

資料をありがとうございます。すごくわかりやすく、見ている限り、確かに子どもを連れてどこかへ行くとか、特に夏休みは大変だと言っているのもそうですし、自分は虫が嫌いなので虫取りには行ったことがないですし、鉄道もあまり興味がないから行かないですし、そういう親の要素は多分にあるのかなと思いました。キャンプが好きな親御さんでしたら、近くにあったら子どもと一緒にいられる、あこがれるし、ただ総じて好きなの

は、子どものために水遊びしたいとか、先ほど話されていましたが、公園があって、水が流れていて、安全できれいな水があって、そんなところがあったらいいなと思います。

川があって、ブルーメがあって、雨が降ったら家にいたり実家へ行ったり、昨日も実家へ行っていました。その中でも、やはりいろんな施設、大きな公園があって、遊具があったらいいでしょうが、全部つくるのは無理なので、何か1つ、この年度が終わる最後ぐらいには何か結果が出て、町や県に要望ができるような会になればいいなと思います。

### ○委員長

ありがとうございます。2年がかりになると思います。公民館が終わって、情報集約して、そこで初めて情報が出揃うと思います。次にやらなければいけないのが、出てきた課題に対して全部は出来ない。そうすると、どこをやるかということはみんなの知恵を出し合わないといけないと思います。そこに時間がかけていただけたらと思います。

ただ、課題にどうこたえていくのか、せつかく隣にいいものがあるのなら、そこから借りるというのも手だと思いますので、そういったこともあわせて考えていきたいと思います。皆さん、ありがとうございます。副委員長、お願いします。

### ○副委員長

私は日野町の住民でもないですし、日野町のことはわかりませんが、ワークショップにずっと行って感じてしたのは、「実家」です。日野町の方は実家って居心地のいい場所なのですね。実家がこんなによく出てくるのが不思議でなぜ実家に行かれるのかと聞いてみたいと思いました。

私が勤める園は大きな敷地で、何でもあります。でも私は保育者に「散歩に行きなさい」と言っています。散歩に行かなくても全部揃っています。遊歩道もあるし、創作活動ができるワクワクの森もある、ピクニック広場もある、ビオトープもある、築山もある、ありとあらゆるものを揃えたけど、足りないのです。何が足りないのかなと思ったら、地域住民の方、社会との接点が全くないのです。今は園に車で来て車で帰られる。歩いてどこかへ行くということがほとんどなくて、地域に住んでいるのに、地域のことをほとんど知らないで、これは園がやらないといけない。いくらいい園庭を整備しても、秋とか春とか季節のいい時にはどんどん外へ出て、どこかへ行って何かをするのではなくて、おじいちゃんやおばあちゃんが畑をしているのを見ろとか、あそこの川に何かいるのを見つけたりするの面白いとか、自分たちが住んでいるまちを肌で感じる事が無いのです。

私が勤める園は田舎ですが、田舎であってもそうなので、もしかしたら日野町の中にも、お買い物でどこかへ行くというのはわかるのですが、わざわざ実家に行かれるというのは人とのコミュニティかなと思いました。お母さんが癒されるのかもわからないし、家のつくりや家族構成に癒されるのか、子どもにとっていい場所なのかなと思いました。

私は子育てで支援をやっていますが、子どもが行くところは、椅子があって、手洗いができて、ちょっと屋根があって、トイレがあったらなおいしい、それだけあったら子どもは遊ぶので、特別大きな公園をつくらなくても、地域の中の公園にちょっとそういう整備を

してあげる。小さな赤ちゃんを連れているお母さんだったらオムツ交換ができなかったら困るだろうし、そういうちょっとしたことを整備していくことで、勢いを付けて行くようなところではなくて、普段、帰り道にちょっと寄って遊ばせたりできるようなスポットを、日野はすごく環境がいいと思うので、できるのではないかな。

田舎でみどりはあるけど、そこに座りこんで遊べない環境になっていないかな。

前にいた園では、幼稚園から帰って、子どもが遊ぶ待ち合わせ場所は幼稚園です。帰ってからみんな自転車で行くのです。子どもたちにわかる集合場所とか、大人が何かをしてあげないといけなのではなくて、子どもたちが安心して遊べるスポットがあってもいいのかなと。日野町マップをもう1回見て、そういう場を見つけていただいたら、できないことはないと思っています。

## ○委員長

ありがとうございます。

確かに、今先生が話していただいたような、座り込んで遊べるようなところがあるのかというと、改めてそうだなと思いました。確かに園には車で来て、車で帰るので周辺の方はご存じないのだと思いました。ありがとうございます。

概ね日野町だけでなく周りの環境も含めて、もしかしたら都市計画とかも含めて、必要なことは求めていった方がいいのではないかと思います。そのような方向でこれからさらに情報収集を進めていきたいと思っています。

次に、アンケートにつきまして紹介させていただきます。お手元の資料の8ページです。

まず問3・問4の自由記述には、皆さんすごくたくさん書いてくださいました。「入園してよかったこと」は、子どもに関して「同年代の友だちができた」ということと、「親や親戚以外の大人とのふれあい・関係ができた」ということは、かなり多く意見がありました。

それを踏まえて問4の「子どもの成長を感じたのはどんな時でしたか」という問いには、答えがものすごく千差万別でして、「食べられないものが食べられるようになった」、「自分で時間の管理ができるようになった」、「友だちを励ましたり、人間関係の中で認め合った」、「親が離れると常に泣いていたのが、泣かなくなった」など、本当に皆さん様々な成長を感じた瞬間をお持ちで、私はここまでたくさん書いていただけて嬉しさいっぱいですが、千差万別ありまして、代表的なものをあげさせていただきました。

そして、選択肢があるものに関しては、数字でまとめることができたので、ご紹介させていただきます。

「園を選ぶ時にどのようなことを重視したか」という問いには、「家・会社から近い」が圧倒的に多いです。あと、「長時間預かってくれる」、「保育、教育内容が良い」も出てきていますが、「その他」のところでは、幼稚園だったら「ここしか選択肢がなかった」とか、保育所の場合は「抽選に漏れてここしか入れなかった」という意見がこの中に入っています。聞き方がよくなかったかも知れないです。確かにあらかじめ決まっている方も

おられると思うので、幼稚園と保育所と子ども園、なぜそこを選びましたかという聞き方をした方がよかったかも知れないです。

次、「あなたが入園時に心配したことはどのようなことでしたか」という問いに、一番多かったのは「子どもが友だちと仲良くできるか」が圧倒的に多いです。その他事項としては、「我が強く一度泣き出したらなかなか泣き止まなくて大丈夫だろうか」、「集団行動がうまくできるかどうか」などがありました。「マスクの着用を強制されてできるかどうか」という方もおられました。

「心配したことはなかった」という方も 9.4%おられましたし、逆に全項目にチェックを入れた方もおられました。

最後に、「あなたが子どもの教育や育児の情報についてどこから（誰から）得ていますか」という問いには、「友人・知人」が一番多く、意外にも「ホームページ」と答えた人は全体の割合から見ると少なく、SNSがその次に強い。あと「園の先生方」は 48.5% ですから、やはり先生方は頼られる存在なのかなと思います。あと「自分の親」や「テレビ」で、「新聞」が 2.8%で、少ないところでしょうか。あとは個別のことがいろいろ書かれています。「きょうだい」に相談しているという方もおられました。

以上がワークショップの結果です。

~~~~~

## ○委員長

次に、公民館ワークショップがこれから始まります。

1 1月から12月にかけてすべての公民館を回らせていただいて、やっていくのですが、その内容は現状、3段階で考えています。

1つ目は、子育て環境の未来像づくりの進め方についてということで、今回こういった形で懇話会を今日は2回目開催させていただいておりますが、従来の日野町さんの行われている会議とはやり方を変えている部分があるので、そこは丁寧に地域の方々にお伝えしないと、ただ結論ありきでやっていると思われるのは皆さんも心配だと思いますので、そのあたりの話を最初にさせていただこうと思っています。

2つ目は、今日お話しさせていただきましたが、幼稚園・保育所ワークの結果について、ここまで細かくはしませんが、概要は皆様にお伝えさせていただいて、今、幼稚園・保育園に通わせている親御さんたちは、日野町内でこういうふうの子育てされていますというあたりの話を知っていただいたうえで、じゃあ、いろいろな課題や要望などが出てきていますが、この公民館のエリアではどんな子育て環境の未来がつけられそうかというのを、まずはざっくばらんに意見を聞こうかなと思います。

3つ目は、ずいぶん悩みました。ですから、お気づきの点があったらぜひ指摘いただきたいのですが、もっと具体的なテーマにしようかなと思ったのです。幼稚園・保育所がそもそも残るのか、残らないのかということに非常に気にされているエリアもあると聞いています。その時に、私は川のワークショップをやっていた経験からですが、まず言いた

いことがある人に言ってもらわないと、フラストレーションが溜まるのではないかなど。例えば川づくり会議の中で、堤防をつくらないといけないとか、何かを壊して新しくつくらないといけないみたいな話をする、すごい人数が来られます。私が参加した会議は、初め 90 人いたのですが、7 回やって最後には 30 人くらいになりました。1 回目で意見を言ったら満足してあとは来ないのです。それはそれで残念な話ですが、このワークショップの 1 回目に関しては、幼稚園・保育所を残したいと思われているところもあれば、あまり気にしてないところもあるのかも知れません。その思いをまず聞かないと始まらないのかなと思っています。

そういう意味で 3 段構えでさせていただいた方がいいのかなと思いますが、いかがでしょうか。アンケートとここまでの発表について、ご質問ございますか。

### ○委員

公民館は 7 館ありますが、対象はどういう方にされるのですか。公民館自体に行ったことがない人も結構多いです。僕らの親世代に投げかけるのか、僕ら世代なのか、20 代の若者なのか高校生なのか、どういふ人に来てもらおうと想定されているのか。

### ○委員長

「ワークショップ開催実績および今後の予定」の資料をご覧ください。

「2、今後のワークショップの開催予定」です。まず子育て層をしっかりとフォローしないといけないということがあるので、「(1) 在宅子育て層へのワークショップ」を計画しています。これは既に開催しました「保育園・子ども園・幼稚園」と在宅子育て層は、親御さんもしくは親御さんになる可能性のある方々向けかなと思っています。

そして「(4) 若者層」では「日野若者会議」の方々と、ある程度情報を集めてからの方がいいと思うので、最後に開催を考えています。

当然、先生方に対するアクションとして (3) 保育者へのワークショップも 12 月中旬に予定しております。

そうしますと、公民館でのワークショップは、残りの方々が対象という形になります。

ちなみに、事務局は公民館の対象者としてどのような方々を想定していますか。

### ○子ども支援課長

公民館の館長さんや主事さんをお願いしていますが、公民館によってカバーの仕方が違います。子ども会がきちんとあるところは比較的進めやすいところがありますが、子供会等がないところは、まずは区長会をお願いをさせていただきます。区長会を通じて、連絡網があるところは、集落の地区委員や子育て層に直に届くところもあれば、大きい地区はその辺が難しいので、地区社協や人権委員とか、幅広く声をかけていけるよう、公民館といかに調整できるかというのがポイントになります。

### ○委員

公民館と在宅子育て層へのワークショップは、保育はしてもらえるのですか。

### ○子ども支援課長

在宅子育て層は、つどいのひろば「ぼけっと」に協力いただき、「ぼけっと」で託児を行い、隣の勤労福祉会館のホールでワークショップを開催したいと思っております。

公民館はまだそこまでできていない状況です。

#### ○委員

対象もそうですけれども、公民館でのワークショップは時間の設定がすごく難しいと思います。

#### ○委員長

子育て層の時は、幼保とつどいのひろば「ぼけっと」でフォローする計画だと私は思っていました。公民館は検討させていただきます。

#### ○委員

先ほども言われましたが、公民館がどういうふうに関わり方によって、地域住民の方々も参加しようかなと思われると思います。紙きれ一枚回覧板で回ってくるのであれば、スルーする人も多いと思います。

地域住民の中でも役職というか、地域のリーダーのところには「出席をお願いします」とか、そういった役職の方々をつかんでおく方がいいのかなと思います。そのほかにはいろいろな思いを持っている方を、お年寄りだからとか子育て世代ではないからとか、そういうことではなくて、子育て環境の未来を探る中で、地域住民として地域の子育て環境を考えていく方が、にいろいろな意見を聞くということも大切ですし、その中でピックアップする人も必要になってくると思います。

#### ○委員長

ありがとうございます。このあと、いただいたご意見を踏まえて事務局と協議させていただいて、広げられるように努力していきたいと思っております。

#### ○委員

それから、日野町は障がい児教育というか、障がい者というところでも一生懸命頑張っておられることも多くあります。私は特別支援学校の教員をしているので、いろいろ地域住民の方からご意見をいただくこともあり、障がい児教育というか、障がい者という方面の方々も子育てをしていく中では大切なパーツの1つになってくるのかなと思います。

そういった方々にも、「わたむきの里」とかいろいろなところに声掛けしていただき、ご意見を聞くことも大切になってくるのではないかなと思います。

わたむきの里が「日野町の障がいのある子は私たちが何とかします、任せてください」と言ってくさっているんで、そういうところの意見もしっかりフォローしていく必要があるのかなと思ったり、どこかのワークショップに参加してもらえると、その方面からのご意見をいただけるのかなと思います。

#### ○委員長

私、わたむきの里さんと別の事業でお付き合いがありますが、ものすごく忙しいので、来てくださいというのは厳しくないですか。



## ○委員

選択肢がこれだけある中で、どこか合うところでもいいし、わたむきの里の中でもトップの人がいいのか、現場の人がいいのか、いろいろな事業を持っておられるので、誰に来てもらうのが一番妥当なのか、そこは我々が指定するよりも、向こうが来やすい形で参加していただければいいのかなと思います。確かに多忙は多忙ですけど。

## ○委員長

ものすごく一生懸命されているのはよくわかりますが、とてもお忙しいとっていたので、それも事務局と協議させていただきます。

## ○委員

私も障がい児向けのことを気にしていましたが、その辺で何かお考えはありますか。

## ○委員長

いえ、現状は書いてあるとおりで、特別に何かやるのであれば考えないといけませんね。

## ○委員

たぶん、障がい児の親御さんはなかなかこういう場には出てこれないと思います。議論をすることが難しい人もおられるので、その辺もうまくできないのかなと思います。

日野町はその辺の支援は手厚いと思いますが、実際にその親御さんたちが出てこれるのか、機会があるのかよくわからないので、そちらにも目を向けた方がいいかと。

障がいの程度の問題もありますよね。

## ○委員長

情報の取り方を考えてみないと、私も作業所さんとお付き合いがあるのでわからないわけではありませんが、大変さが相当なものなので、良い案があれば教えてください。

## ○委員

子どもたちのために、子育てのために周りの環境を整えていく。その中で、中間総括をしたあと、今度は幼稚園・保育所をどうしていくかという流れになっていくのですか。

## ○委員長

そこは正直、私の今やっているやり方は、先が見えないやり方をしているのです。その自覚はあります。ただ、対局は何かというと、私は元々、人間行動学を研究していましたが、未知のことを調べる時は、計画が取れないのですよ。

その時にはどういうふうにするかということ、なるべく緻密に情報を取る。その情報を並べてみんなで考えて、どうしたらいいのか。逆に言えば、初めから結論がわかっているのであれば、データを取らなくていいじゃないかと言われていたのです。

正直な話、この話の相談を受けた時に、私はこの分野の専門ではないということを考えた時に、そこでイメージができないのが正直なところです。まずは保護者の方の情報をなるべく緻密に取ろうと思いました。残念ながらコロナ禍の大変な状態のときだったので、わらべ園などは十分できなかったというのはありますが、現状下ではかなり皆さん頑張

っていただいて開催させていただきました。

次は公民館でどれだけたくさん情報を取れるか、その中でどういうふうに次持っていくかということをもみんなで相談したいというのが私の正直なところですよ。

ただ、何となく他の事例は使えないだろうと思っています。日野町はすごく独特のそれぞれの集落の文化もあり、実家が近いとかいろんな条件が見えてきたので、ここは懇話会のメンバーで探していくしかないのではないかと。そのために何か調べてきた方がよければ調べてきますし、専門家に聞いた方がいいことだったら聞いてきますので、みんなで相談して考えていきたいと思っていますので、ぜひ皆さんご協力をよろしくお願いいたします。

### ○委員

最初来た時はわからない中で参加させてもらって、ワークショップをされると聞いて、方向性をどう持っていくのかかなと思ったのが正直なところですよ。今回聞かせてもらって、確かに周りの環境を整えていく、いろいろなところで日野町のいいところも課題もあるし、そういったことを共有する中で、日野町の未来のためにどういった子育て環境を残していけるのか、つくっていけるのかということの方が大事だなと改めて思いました。

その中で、幼稚園・保育所をこういうふうにしていったらいいのではないかとという話も、意見交換の中で膨らませていけるといいのかなと思います。

### ○委員長

もう1つだけ言えることがあるとすると、2年後にできあがるのは、絶対的な理想像、「これでいきます」ということではないと思っています。選択肢だと思います。それぞれの日野町民さん、エリアごとかも知れないし町全体かも知れませんが、選択肢をどれだけつくれるのか。そうすると皆さんが選べるじゃないですか。それぞれ高齢化の状況も違う、子どもの人数も違う中で、「これしかないから、これでやってくれ」というのでは受ける側はつらいですよ。できる限り、「こういうふうにとこう負担が発生するけど、こういういいことがありますよ」と、選択肢がいくつかあると、皆さん選べていいのかなと思います。

選択肢があると、自分たちで選んで決めたら選んだ人に責任が発生するので、という方法がいいのではないかなとは思っています。十分な答えにならなくてすみません。

### ○委員

今、他の委員さんも言われましたが、2年間ということですけど、非常に難しい。教育というのは形があるものではないし、数字で出てくるものでもないですから。

保育者へのワークショップのところで、先生方とか保育士の皆さんとかの働き方と給料等の待遇、その辺は町長に対しても、保育の提供と保育人材の確保に関する報告をします。それで行政としてどういった対応をできる限りしていただくかと、そこに地域住民がどれだけ協力できるかというのは保護者会やPTAだと思うので、実際に保育をしていただいている方々の負担はすごいことになっていて、親は親で忙しい、いくら仕事をしていても賃金は上がらない。そのうえで保育のニーズが変わってきたところがデー

タとして全国的に出ているので、保育者の皆さんへのワークショップのところで、どういふふうなことが出てきて、それに対してこの懇話会が何をしてあげられるのかということも議論する必要がある。2大柱の1つとして、1つはこういう理想像で選択肢がありますよということと、制度として変えていけるのかどうかということは意味があるものだと思います。先生方へのヒアリング等は丁寧にさせていただきたいと思います。

#### ○委員長

ちなみに、保育者へのワークショップは回数的には6回くらいになるかなと考えています。早番とか遅番とか、いろいろな方々に対応できるようにシフトを事務局と相談して、一日3回くらい5日間など、今計画を立てているところです。

なるべく多くの方に来ていただけるようにしたいというのが1点と、私も言葉足らずで申し訳ありませんが、物理的につくれないもの、また永続性がないものは、書いても選択肢に入れようがないので、当然、働いている方が働ける状況で働いていると私は思います。もちろん提案は是非ここで、皆さんに議論していただいて、そういう選択肢になるようにしていきたいと思います。

決して、地域の理想像としての選択肢という話ではなくて、実行可能な選択肢でなければいけないと思っています。

日程調整に戻りますが、次回にはそのあたりの情報も皆様にご紹介できるのではないかと思いますので、ぜひその時にはよろしくお願いします。

その他、いかがでしょうか。

(意見なし)

#### ○委員長

では、その他事項、何か皆さんからありますか。

(意見なし)

#### ○委員長

私は全部説明しきれないで、ご意見を言ってもらえると私もしゃべれるので、そういう形で私は会議を進めたいと思っています。私が言っているのが正しいとかいうことでは全くないので、私は皆さんの代表みたいな感じで、情報をしっかりつかんできて、皆さんと議論するための材料を揃えて、その中で未来像を考えていきたいと思っています。

本日も貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございました。事務局に返させていただきます。

#### ○子ども支援課長

ありがとうございました。今後の日程もこちらで検討する材料をいただきましたので、このあとしっかり検討して、当面は公民館のワークをしっかりと開催できるよう、協議をしていきたいと思っています。

今日はどうもありがとうございました。

(閉会)